

# 仁丹

報道関係各位

2011年2月10日

## ～戦後初第1号となる町名看板を京都の地に復活～ 『京都町名瑠璃看板』第1号を 京都市役所に設置！

この度、森下仁丹株式会社(本社:大阪市中央区/代表取締役社長:駒村純一)は、仁丹の創業日である2月11日「仁丹の日」を記念して、本日、2月10日に戦後初の復活第1号となる『町名瑠璃看板』を京都市役所に設置致しました。

昨年の8月より活動しております「京都町名瑠璃看板プロジェクト」は、京都市に多く残る町名瑠璃看板が、ここ十数年の間に激減していることを知り、京都の地に再び、復活させたいという思いから進めてまいりました。先日、一般公募により決定しました書き手により、筆入れしました町名看板は、設置場所の12町内会、18箇所にも本日以降、随時設置を開始致します。



▲ 戦後復活第1号となる  
京都市役所の町名瑠璃看板

京都市役所の町名瑠璃看板は、京都府広告美術協同組合のご協力のもと設置致しました。

### ■設置予定町内会

- 上京区加賀屋町    ○上京区大黒町    ○中京区三条町    ○中京区六角町    ○中京区百足屋町
- 中京区小結棚町    ○中京区釜座町    ○中京区三条油小路町    ○中京区下樵木町    ○下京区船鉾町
- 下京区東塩小路町    ○左京区銀閣寺町

### 【本件についてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社 広報担当 : 磯部・大北 TEL:06-6761-1134 FAX:06-6761-8108  
共同 PR 株式会社 第五業務局 担当 : 長尾・林 TEL:03-3571-5275 FAX:03-3574-1005

## ■ 「京都町名瑠璃看板プロジェクト」について

100年もの間、京都の景観に溶け込んできた町名看板(木製看板を含む)を保全・復活させ、古き良き日本の時代を残していきたいという思いから、2010年8月に立ち上げました。「町名瑠璃看板」は、唯一、多く残っているとされている京都市でも、社会情勢や生活様式の変化により、ここ数十年で約4割減少し、延べ750枚弱※1まで激減しているのが現状です。本プロジェクトでは、一枚一枚を手作りで製作した新たな瑠璃看板を、戦後初めて、京都の地に復活させます。

※1: 京都仁丹樂會(ジントニアン)調べ

## ■ 町名看板

創業者・森下博は、『広告益世(広告物も世のため人のためになるべき)』の活動の一環として、当時、町名の表示がなかった為、来訪者や郵便配達人が家を捜すのに苦労しているという人々の悩みに応え、明治43年頃から当社の商標(大礼服マーク)が入った町名看板を辻々に掲げ始めました。当初、大阪、東京、京都、名古屋といった都市から掲げられ、日本全国津々浦々にまで広がりました。その後、戦災により焼け残った街角では、昔ながらの町名看板を見ることができます。現在のところ、現存している場所や枚数は、把握できておりません。

## ■ 瑠璃看板

瑠璃看板は、明治時代末頃より製作が始まり、その後、大正時代から昭和後期にかけて生産され、その多くは、屋外看板として利用されたと言われてしています。※2

瑠璃は、鉄にミクロン単位に磨り潰したガラス質(アワガラス)の釉を800度の高熱で焼き付けて仕上げたもので、看板に着色する数だけ釉を高熱で焼き付け、乾燥・焼成を繰り返します。ガラス質の釉を焼き付けているので、光沢を帯びた仕上がりとなり、耐久性・耐候性が高い看板になります。

今回の瑠璃看板では、通常工程として、ガラス質の釉を焼き付けた鉄板表面の汚れ等を落とし、下処理のコーティング作業をし、850度で1度、焼き上げます。コーティングされた鉄板の上に今回の看板の色となる白色の釉を吹き付け、乾燥させ、800度で焼き上げます。その後、紺色の釉を吹き付け、乾燥させてからさらに800度で焼き上げます。商標部分は、製版をしたものに着色数を吹き付け、乾燥させ、800度前後でさらに焼き上げます。(参考資料①参照)

町名表記に使用したインクは、これから何十年・何百年以上も町名看板として使用されるものですので、途中で剥がれ落ちないことを考慮し、瑠璃に一番いいインクとして、耐候性・変色しづらさを兼ね備えた建物の外壁剤に使用される有機系塗料のインクを使用しました。

看板の製作は、昭和26年に創業し、埼玉県吉川市にあるホーロー専門の製造会社 花村ホーロー工業株式会社(代表取締役 花村光夫様)に製作を依頼しました。現在、日本で瑠璃製広告看板のすべての形状および最大サイズまで一貫生産ができる唯一の会社です。

※2(参考文献)日本ホーロー看板広告大図鑑 サミゾチカラ・コレクションの世界

## ■ 京都仁丹樂會

仁丹看板を求めて町中を歩き回り、写真を撮ったり、ブログに載せたり、定期的に集まって意見交換をする愛好家です。今回の「京都町名瑠璃看板プロジェクト」では、京都市内在住の京都仁丹樂會の方々に看板の設置場所や看板表示の法則についてアドバイスをいただきました。この度、森下仁丹が協賛いたしました「京都まち歩きマップ」でも、京都仁丹樂會とコラボレーションしております。

【参考資料①】

# ほうろうの製造工程

